

平成 27 年度大野南地区地域活性化事業交付金 交付決定事業の概要と評価

1

申請事業名	相模大野のこどものまち（3年目）
申請団体	相模大野のこどものまち実行委員会
事業目的	子どもや学生が、「都市計画」「まちのデザイン」「住民自治」等の「まちづくり」の要素を主体的に楽しみながら、「社会経験」を自主的に実践することで、子どもの頃から「まち」への積極的な参画を促し、ひいては未来の市民力をアップしていくことを目的とする。
交付決定日	平成 27 年 6 月 2 日
交付決定額 （事業費）	500,000 円（決算 657,000 円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>8 月 8 日及び 9 日の 2 日間、相模女子大にて「相模大野のこどものまち」を開催した。</p> <p>参加者数は地域の子ども 353 名、学生運営委員 12 名、学生実行委員 24 名、当日学生ボランティア 58 名、専門家 18 名、大人スタッフ 4 名、来賓 9 名であった。</p> <p>自己評価</p> <p>大人以上にまちの課題を考え、解決していくことを積極的に行うことで、よりよいまちづくりが出来ることを気付かせることが出来たと思う。今後、まちづくり会議などへ新しい考えを持つ市民として、若者や子どもたちを参画させ、このまちのまちづくりに活かされることを望む。</p>
市評価	<p>昨年度から相模女子大学と共催することにより、大学を会場にしながら相模女子大学の学生や OG 等を中心に、1 年限りの活動ではなく学生が主体となって継続的な運営をしていく機運が高まっている。</p> <p>参加者の子どもたちや学生ボランティアの中から、事業実施後も自主的に「こどものまち」を継続していく動きも生まれており、誘致に成功した平成 28 年度こどものまち全国サミット 10 周年記念大会の成功に向け、さらなる地域や企業との連携強化が期待される。</p>
備考	

申請事業名	防犯・交通安全に関する啓発事業及び支援事業（3年目）
申請団体	特定非営利活動法人 さがみはら市民交番青パト隊
事業目的	「さがみはら安全安心ステーション」を拠点として、各種団体や行政と連携を図りながら、大野南地区を中心に防犯意識向上や交通安全運動について充実を図る。若手ボランティアの参加を募り、次世代の運動の担い手を育成する。
交付決定日	平成27年6月2日
交付決定額 （事業費）	250,000円（決算402,993円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>防犯・交通安全に関する啓発事業及び支援活動を、青色灯搭載パトロール車により行った。頻度は週当たり4日～5日で、1クルー2名あるいは3名が乗務し、録音アナウンスあるいは直接マイクにて、防犯や交通安全を呼びかけた。</p> <p>また、上鶴間地区ふるさとまつりや町田駅周辺合同歳末特別警戒などの地域のイベントにも参加し、防犯啓発活動を行った。</p> <p>自己評価</p> <p>近年、特殊詐欺の被害は高齢者に増加傾向があり、社会の不安要因となっている。青色灯を回転させ、特に『振込詐欺』に対する注意喚起を呼びかける啓発は、地域住民の関心を呼んでいる。</p> <p>また児童の交通安全についても社会の強い要請であり、小学校の登下校時間帯には青パトとともに安全見守り活動を行うことにより、子どもたちからも親しまれている。</p>
市評価	<p>地域の安全・安心を保持することを目的とした青色防犯パトロールの実施は、市民に犯罪に遭わないように防犯意識を高めていくための効果と、犯罪者に対しての犯罪抑止の効果との双方が期待できる有効な手段であると評価できる。</p> <p>今後は自主財源の確保による自立した組織の運営が期待される。</p>
備考	

申請事業名	オオノオト（２年目）
申請団体	オオノオト
事業目的	<p>芸術を通して若者と地域住民の間で地域交流の場を作る。</p> <p>相模大野には、駅前に商業施設や商店街が古くからあり、若い芸術家や大学生が多い街だが、地域住民と若者が協力した地域活性ができていない。そのため、女子美術大学OGで構成されるオオノオトが、芸術活動をする若者たちと地域をつなぎ、アートと音楽を通して活気あるまちづくりに貢献する。</p>
交付決定日	平成２７年７月２１日
交付決定額 （事業費）	390,000円（決算405,526円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>平成２７年１０月２５日(日)（ワークショップ）12:00-17:00 （ライブ）11:00-19:00</p> <p>場所:相模大野中央公園</p> <p>出演アーティスト: SillyMonkey x オモカゲホーンズ ほか7団体</p> <p>ライブ目的:地元を大切にすゝる気持ちを持つ</p> <p>テーマ:「Hometown」</p> <p>自己評価</p> <p>今年はステージの作製にあたり、地域の方から古布や、美大生からいらなくなったキャンバスを募り集め、それらを再利用することで、作品として地域とアートのコラボレーションを見せることができたと思う。</p> <p>また、今年はオオノオトのリピーターが例年以上に多く見られ、少しずつではあるが地域に定着してきていることを実感できた。</p> <p>ライブにも多くのアーティストに参加があり、規模も大きく内容も厚いものが作れた印象である。今後も有力なアーティストと深く連携をもち、イベント全体を盛り上げていきたい。</p>
市評価	<p>団体の得意分野である芸術を通じて若者と地域住民との交流の場を作るという取り組みは、地域における担い手育成や活動への参加者増加、活動団体間の連携強化に寄与するものである。</p> <p>また、自己評価にもあるように、リピーターも着実に増やし、地域に浸透しつつあるイベントに成長してきている。今後は自主財源を獲得し、自主自立的なイベントの運営が望まれる。</p>
備考	

申請事業名	青パトによる安全・安心まちづくり事業（新規）
申請団体	自治会法人 中和田自治会
事業目的	青パトによる定期的な地域の巡回により、地域防犯や交通安全運動に寄与し、地域の「安全・安心まちづくり」に資する。
交付決定日	平成27年7月21日
交付決定額 （事業費）	500,000円（決算1,226,180円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>防犯、交通安全に関する支援活動を青色灯搭載の中和田自治会名の入っているパトロール車によって行い、直接マイク、または録音アナウンスで防犯・交通安全を呼びかけ、広く会員に知らせることによって、地域の安全・安心に寄与することができた。</p> <p>また、青色灯を回転させ、地域内を見守り、子どもたちの下校時間に合わせて運行することにより、子どもたちの安全・安心につなげるとともに、車が新しくなったことで暑さ、寒さにかかわらず巡回することができるようになった。また、自治会の足としての役割も大きくなった。</p> <p>自己評価</p> <p>自治会名の入っているパトロール車に乗っての啓発活動は、自治会員の方々の協力と意欲を高め、地域の安全・安心なまちづくりに貢献している。</p>
市評価	<p>青パトによる定期的な地域の巡回により、地域防犯や交通安全運動に寄与するとともに、自治会の活動PR、ひいては自治会への加入促進につながっていると評価できる。</p> <p>また、青パト隊の隊員は、自治会員のほか、民生委員・児童委員、交通安全協会、交通安全母の会、PTA等の構成員でもある自治会員で編成されており、活動を通して地域の各種団体相互の連携と絆づくりに寄与している。</p>
備考	

申請事業名	相模大野かぼちゃまつり（５年目）
申請団体	相模大野かぼちゃまつり実行委員会
事業目的	南区（大野南地区）における地域活性化、主体間の連携強化。子ども（親子）が楽しめる秋の体験型イベントによる郷土愛の醸成。参加者、協賛企業、出店者による経済の循環
交付決定日	平成２７年９月１日
交付決定額 （事業費）	500,000円（決算2,343,700円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>10月25日（日）、相模大野中央公園にて「第6回相模大野かぼちゃまつり」を開催した。</p> <p>ステージ部門：キッズダンスパフォーマンス、お笑いコント、マジックショー、ベストドレッサーコンテスト</p> <p>屋台部門：地元中心に、21店舗の飲食ブース出店</p> <p>フリマ部門：地元の方中心に19店舗が出店</p> <p>縁日部門：縁日出店、記念マグカップの製作・販売</p> <p>会場装飾：伊勢丹側から公園までの通路に、園児たちの描いた絵を展示、会場内にハロウィンイベントらしい装飾品を展示、記念撮影をできるフォトスタンドを設置</p> <p>自己評価</p> <p>当日の来場者は推定4万人、本当に多くのご家族にご来場いただき、活気あるまちづくり、地域活性化の一助となれたのではないかと自負している。出店ブースのかなりのお店が完売されていた状況などを見ても、今年は来場者の滞在時間も長かったように思う。かぼちゃまつりのことを南区の多くの市民に知っていただき、更にこのまちを好きになってもらえたと思う。</p>
市評価	<p>今年で第6回目を迎える当イベントは、地域の青少年や商業者、企業などを巻き込んだ地域密着型イベントとして、大野南地区の秋の風物詩としてなくてはならないイベントとして地域に定着してきている。</p> <p>財政面においても、広告料収入、事業収入ともに積極的な自主財源の確保に向けた事業を行っており、今後は相模大野を市外に発信するイベントとしての成長を期待したい。</p>
備考	

申請事業名	おおのジャズ Jam Collection 2015 (3年目)
申請団体	相模大野駅周辺商店会連合会
事業目的	相模原市の対外的な認知度やイメージの向上。 相模原市民による相模大野の魅力の再発見や市民としての誇り、一体感の醸成。 相模大野ならではの街の魅力の発信や街としての活力の創出。
交付決定日	平成27年9月1日
交付決定額 (事業費)	400,000円(決算440,956円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>10月28日(水)・29日(木)の二日間、相模大野駅周辺の複数の会場において地元ミュージシャンを中心としたジャズライブを開催し、来街者に地域ブランド「おおのジャズ」を体感していただく機会を提供した。また、夜間は、連合加盟の飲食店を中心として「お店ライブ」を行い、「ジャズの流れるおとなの街・相模大野」を演出した。</p> <p>なお、今年は第6回ちょい呑みフェスティバルと同時開催し、両イベントでの相乗効果を期待して実施した。</p> <p>自己評価</p> <p>地域ブランドとして定着しつつある「おおのジャズ」をより広く発信していくため、個店や商店会相互の連携に留まらず、大型店や公共施設、鉄道各社などとの連携を模索し、事業の拡大に努めた。</p> <p>結果として、参加者(団体)相互、地域住民と来街者、商業者と消費者など、様々な接点で交流が生まれ、地域活性化に資する事業展開が行えたものと自負する。</p> <p>来年度も今回の課題を整理し、引き続き地域ブランド「おおのジャズ」の確立に向けた努力を行っていきたい。</p>
市評価	<p>申請団体は、平成23年度から地域ブランド「おおのジャズ」による相模大野駅周辺の活性化や魅力づくりに取り組んでいる。</p> <p>本事業は、商店街組織がまちづくりひいては地域コミュニティの担い手として実施する、継続的な集客促進、需要喚起、商店街の体質強化、さらにはまちの活性化や魅力づくりに寄与する取り組みであると評価できる。</p> <p>今後とも継続的な顧客へのアプローチや他の事業との連携など、市内外から人をひきつける魅力ある事業としての発展を期待する。</p>
備考	

申請事業名	子ども食堂 peco（新規）
申請団体	peco
事業目的	食事作りを通して、気軽に集え、ありのままでいられる居場所をつくることで、課題を抱えた子どもを早期発見し、適切な支援につなげ、貧困の世代間連鎖を防ぐことを目的とする。
交付決定日	平成28年2月2日
交付決定額 （事業費）	173,000円（決算173,015円）
団体実績報告	<p>事業実績 平成28年2月～3月の3回にわたり、「子ども食堂 peco」事業を実施。</p> <p>カレーライス、三色そばろ丼、ハンバーグを提供した。子ども達は延べ7人が参加。最初はなれない手つきであったが、ボランティアの大学生と共に調理を楽しむうちに自然と会話が生まれ、最後の試食では笑顔を見せながら談笑を交わしていた。</p> <p>自己評価 本事業は市が実施する学習支援事業のように、生活困窮者のみに対象を絞ったものではないため、子ども食堂の利用者が不要なレッテルを貼られることが無いという点で、行政ではできないアプローチで、かつ、社会的な貢献もできたと考えている。</p> <p>今後は、周知方法の工夫や協力してくれる人材の確保に努め、安定した事業の実施ができよう努めたい。</p>
市評価	<p>国内で貧困状態にある17歳以下の子どもの割合は16.3%。実に6人に1人に上る。経済的問題や、ひとり親世帯等で食事の支度がままならず、夕食は一人、コンビニ弁当やインスタントもので済ませてしまうなど、心と体を育むはずの「食」が揺らいでいる時代において、子どもの健康づくり、ひいては地域との繋がりづくりを目指す公益性の高い事業であると評価できる。</p> <p>健康の格差の解消、親から子への貧困の連鎖を断ち切るためにも、今後の事業の拡大が望まれる。</p>
備考	